

平成23年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

2項 工鉱業費

2目 中小企業振興費

産業振興総室(内線:7656)

(単位:千円)

| 事業名 | 本年度 | 前年度 | 比較 | 財 源 内 訳 | | | | 備 考 |
|-----------------|---|-------------------|--------------------|---------|-----|----------|--------------------|-----|
| | | | | 国庫支出金 | 起 債 | その他 | 一般財源 | |
| エコカー関連産業育成・支援事業 | (37,522) 18,404 | (17,330) 2,610 | (20,192) 15,794 | | | (19,118) | (18,404) 18,404 | |
| トータルコスト | 23,197千円(前年度23,784千円)[正職員:0.6人] | | | | | | | |
| 主な業務内容 | エコカーマネージャーの配置、自動車の分解解体研修、企業への技術支援など | | | | | | | |
| 工程表の政策目標(指標) | エコカー関連産業の育成:県内自動車関連企業の高度化や自動車関連産業への新規参入を支援するため、セミナーの開催や技術支援を行う。 | | | | | | | |

※上段()は緊急雇用創出事業及びふるさと雇用再生特別交付金事業計上分を含む額
説明

1 事業の概要

県内に電気自動車(以下EV)の製造工場の立地が予定されるなど、ハイブリッド車(以下HV)やEV等のいわゆるエコカーに関する産業分野の拡大が見込まれている。県内製造業においては、この産業分野へ参入する好機であり、高付加価値製品の開発を促進し、参入機会を拡大することを目的に、関連製造業の競争力強化を図るための施策を展開する。

2 事業内容

- (1) エコカーマネージャーの配置 11,899千円(16,684千円)
EV等の基幹部品を製造できる体制を構築するため、(財)鳥取県産業振興機構にエコカーマネージャーを配置し、県内企業の技術力強化・高付加価値化を推進する。(緊急雇用創出事業:1名)

<マネージャーの用務>

- 別途配置する事務補助員(1名)と共に県内企業を訪問し、各企業の強み分析
- 企業間連携による具体的なユニット生産の企画・推進
- 県外の自動車メーカー、上位下請けとのパイプ役 等

- (2) 自動車解体分解学習事業 5,872千円(12,994千円)
高付加価値製品の開発に向け、既存自動車(HVを予定)を専門家と共に解体分解することにより、部品の構造、素材、加工技術等について知識を深めるための研修を実施する。(緊急雇用創出事業:1名)

<実施方法等>

- 解体分解に併せ使用されている材料や加工技術等を解説
- 解体後の部品は、地方独立行政法人鳥取県産業技術センターに展示、技術支援に活用

- (3) 企業への技術支援の実施 633千円(7,844千円)
EV関連産業分野における企業の事業化を支援するため、地方独立行政法人鳥取県産業技術センターに非常勤職員2名を配置するとともに、(株)SIM-Driveに派遣する職員にかかる経費の一部を補助する。(緊急雇用創出事業:1名、ふるさと雇用再生特別交付金事業:1名)

<技術支援の主な内容>

- EV関連部品の製造に関する技術相談等、技術講習会の開催
- EVの部品に関連する素材・加工技術に関する研究開発、部品等の評価試験 など

- (4) 高度設計支援事業(鳥取県地域雇用創造協議会事業として実施予定)
複雑化、高度化する製品設計に必要なコンピュータシミュレーション等を活用した設計支援システムについて、専門研修を実施する。

3 これまでの取組状況、改善点

地方独立行政法人鳥取県産業技術センターの職員を(株)SIM-Driveに派遣し、EVに関する技術の習得に努めるとともに、各種講習会、自動車メーカーとの商談会等を開催し、県内企業の自動車関連産業への参入機会の拡大を支援してきたところ。

一方で、当該産業に参入を図るためには、部品等に求められる高い品質レベルをクリアする必要があるが、現在の県内レベルでは多くの課題があるため、マネージャーの配置等により県内産業の競争力強化を図るもの。